

<その他、取組に特徴のある事例>

## ○集落を越えた取り組みを目指して

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	岐阜県下呂市 <sup>げろし</sup> 馬瀬 <sup>ませ</sup>			
協定面積 43ha	田 (85.5%)	畑 (11.9%)	草地 (2.6%)	採草放牧地
	水稻	白菜等	イソアングラス	
交付金額 441万円	個人配分			0%
	共同取組活動分 (100%)	鳥獣害防護対策にかかる費用の助成		16%
		農業施設の維持管理		24%
		農用地の維持管理経費 (利用権設定ほか)		55%
役員報酬		5%		
協定参加者	農業者 219人、2生産組合 (構成員28名)			

### 2. 集落マスタープランの概要

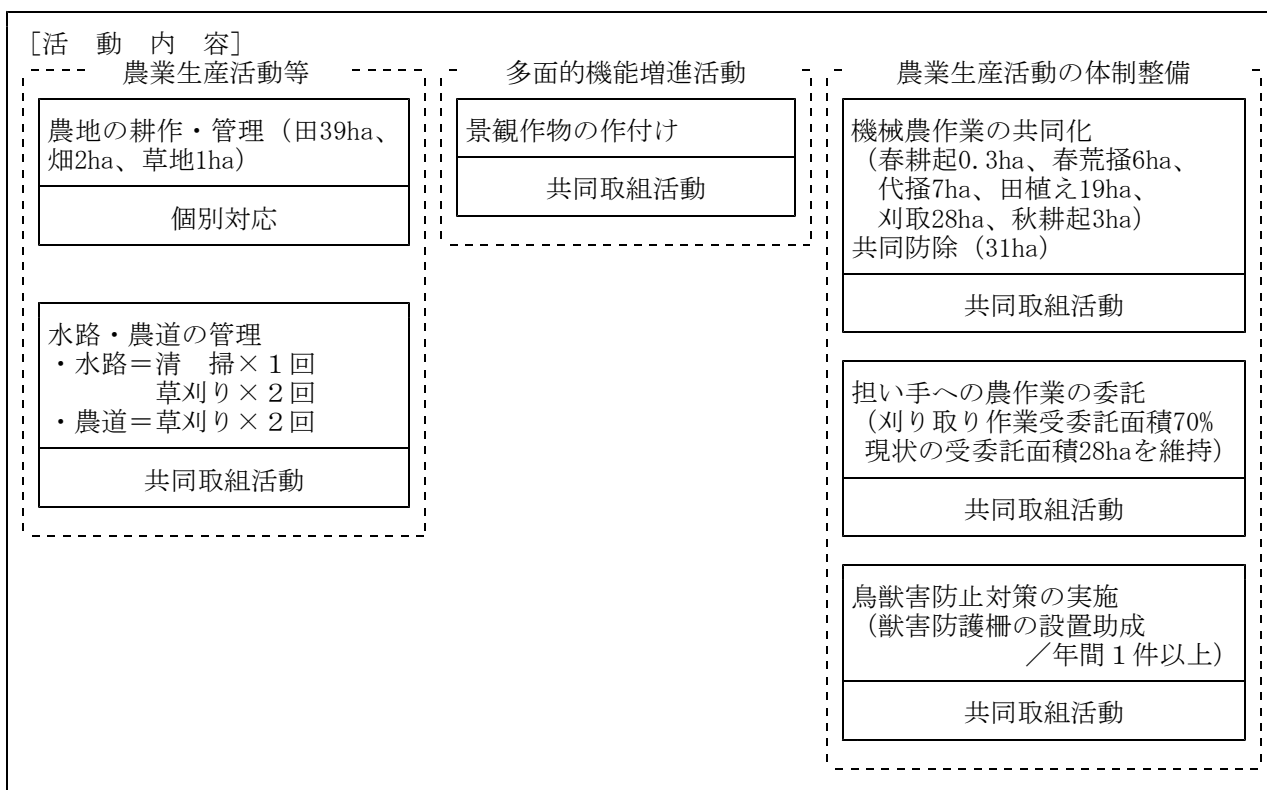
#### (1) 集落の将来像

担い手への利用権設定などに取り組むことにより、継続的な農業生産活動が行える体制を構築する。

また、耕作者のやる気を無くさないためにも効率的な獣害対策に努める。

#### (2) 5年間の目標

- ①農業施設 (水路・農道) の維持管理を共同取組により実施
- ②利用権設定の推進 (5年間で10件以上を目標)
- ③荒廃農地の管理を目的に草刈り又は花木の植栽
- ④獣害対策への取り組み (毎年1件以上を目標)



### 3. 取組の経緯及び内容

当地域は、現在、少子高齢化が進み後継者が不足しており、今後益々耕作放棄地の発生しやすい状況にあることから、「馬瀬里づくり委員会」が中心となり担い手への農作業受委託による農地の維持管理を行う体制づくりに取り組む。

また、平成16～17年にかけて獣害被害が多く発生し、各個人による獣害防護柵の設置が行われたが、対象の獣が防護柵未設置の農地に移動する状況となっている。そこで、農地保全マップを用いて効率的な獣害対策にも取り組むこととしている。

#### ○農用地等保全マップ



馬瀬地域農地保全マップ  
(1 / 9 枚)  
種目、協定農地、協定外農地  
農業施設（農道、水路）  
耕作放棄地を表記  
獣害対策が必要である箇所を示してある



馬瀬里づくり委員会の会議

#### 【平成21年度までの取組目標】

- 担い手への農地の利用集積（5年間で10件以上）
- 獣害対策の実施（年間1箇所以上の防護柵を設置）
- 担い手への農作業の委託（現状28ha→目標28ha）